

平成 28 年度ちとせ地域福祉フォーラム開催要綱

1 目 的

多くの市民の皆様にご身近な地域での支え合いや地域福祉のあり方をご理解いただくことを目的に開催します。

2 趣 旨

超高齢社会を迎え、健康上の問題がない状態で日常生活を送れる「健康寿命」への関心が高まっています。ある調査では、近所づきあいなど地域社会と積極的に関わりをもつ高齢者ほど健康余命が長いことが知られています。また、笑いが心や体に良いということは医学的に実証されつつあり、笑いがもたらす健康効果も注目を浴びています。

北海道では、健康寿命の延伸に向けた取組みの一つとして、笑いが健康にもたらす効果が大きいことに着目し、8月8日を『道民笑いの日』と制定したことにちなみ、今年度のフォーラムでは笑い与健康をテーマに講演と落語を通して、地域でいつまでも自分らしくいきいきと暮らすための健康づくりについて考える機会として開催します。

3 テーマ 「笑って健康づくり～住み慣れた地域で自分らしくいきいきと暮らすために～」

4 主 催 ちとせ地域福祉フォーラム実行委員会

【構成団体】

千歳市町内会連合会、千歳市民生委員児童委員連絡協議会、千歳市老人クラブ連合会
ちとせタウンネット、千歳市社会福祉協議会、千歳市

5 後 援 千歳市教育委員会、千歳市共同募金委員会、千歳身体障害者福祉協会 千歳市女性団体協議会、日本赤十字社北海道支部千歳市地区、千歳市赤十字奉仕団 千歳市保護司会、千歳市遺族会

6 日 程 平成 29 年 2 月 11 日（土）14：00～16：00 ＊受付 13：45 開始 ※13 時から、「第 53 回千歳市社会福祉大会（主催：千歳市社会福祉協議会）」の開催があります。

7 会 場 北ガス文化ホール（千歳市民文化センター）中ホール （千歳市北栄 2 丁目 2 番 11 号 TEL26-1151）

8 参加対象 町内会・自治会関係者、福祉委員、民生委員児童委員、主任児童委員、老人クラブ、 介護保険事業者、福祉施設職員、保健・福祉・医療・教育の関係者、市民

9 定 員 400 名

10 参加費 無料

11 プログラム

時間	内 容
13 : 45～14 : 00	受 付 (※13時から「第53回千歳市社会福祉大会」の開催があります。)
14 : 00～14 : 05	開 会
14 : 05～15 : 10 (65分)	講演「笑い与健康のステキな関係」 講師 いとう かずすけ 伊藤 一輔 氏 (日本笑い学会北海道支部長・医師) (略歴) 陸別町出身。昭和46年に弘前大学医学部を卒業し、北海道大学医学部循環器内科入局、東京女子医大付属日本心臓血管研究所勤務、国立西札幌病院、国立病院機構函館病院院長などを経て名誉院長、平成26年より北海道国民健康保険連合会常任審査委員。医学博士。 専門は、循環器内科のほか「笑い与健康」をライフワークとし、日本笑い学会北海道支部長を務め、著書に「よく笑う人はなぜ健康なのか」(日本経済新聞出版社)などを出版。
15 : 10～15 : 15	ステージ転換
15 : 15～15 : 55 (40分)	落語会 「笑って健康一番、おはこの健康落語」 落語家 しょうせい おはこ 笑 生 十八番 氏 (略歴) 島根県松江市出身。島根県立松江南高等学校を卒業後、北海道大学水産学部水産学科に入学。学業と同時に松江南校落語研究会、北海道大学落語研究会に所属。 現在は、日本笑い学会北海道支部、北海道笑ってもいいんじゃない会に所属するほか、HBC テレビ CM や HTB テレビ番組等多くに採用される。芸歴50年。
15 : 55～16 : 00	閉 会

※講演と落語には、手話通訳と要約筆記の対応があります。

12 申込方法

参加ご希望の方は、2月3日(金)までに、電話・FAX・メール・郵送などで、氏名・電話番号等ご記入(連絡)の上、下記宛にお申し込みください。

なお、会場の都合で定員になり次第、締め切らせていただきますので、予めご了承ください。

13 申込先及び問合せ先

- ・千歳市(担当：福祉課総務係)

〒066-8686 千歳市東雲町2丁目

TEL24-0292/メール fukushi@city.chitose.hokkaido.jp

- ・千歳市社会福祉協議会(担当：地域福祉課地域福祉係)

〒066-0042 千歳市東雲町1丁目11番地

TEL27-2525/FAX27-2528/メール c-shakyo@chitose-shakyo.or.jp